

科目名		授業形態	担当教員名	
生活環境学		講義・演習	嘉納 綾	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
この講義では、日本の住環境の特性を知り、それがADLに与えている影響について考える。また、住環境整備の必要性や効果を知り、具体的な整備方法およびその際の留意点を学習する。作業療法士は、福祉用具の専門家でもある。対象者の機能と環境を評価し福祉用具を選定するためには、用具の特性や使用方法を知っておく必要があるため、演習を通して学習していく。また、介護保険における住宅改修や福祉用具貸与・購入制度についても学習する。				
授業の到達目標				
1. 日本の住環境の特性を説明できる。		5. 標準的な福祉用具を列挙し、特徴を説明できる。		
2. 住環境整備の必要性とその効果を説明できる。		6. 福祉用具を導入する際の留意点を説明できる。		
3. 住環境整備の方法について説明できる。		7. 福祉用具の適応について説明できる。		
4. 事例の住宅改修プランを考えることができる。		8. 介護保険制度について説明できる。		
授業計画				
回	内容			
1	福祉用具について			
2	福祉用具（起居・床上）			
3	福祉用具（移乗・移動）			
4	福祉用具（その他）			
5	福祉用具（疾患別）			
6	福祉用具のまとめ			
7	住環境整備について			
8	住環境整備（場所別）			
9	住環境整備の実際（事例演習1）			
10	住環境整備の実際（事例演習2）			
11	住環境整備の実際（事例演習3 グループワーク）			
12	〃			
13	〃			
14	発表			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%	到達目標の達成度で評価する		
レポート	25%	福祉用具レポート、家の間取り図、住環境整備のグループレポートで評価する		
小テスト				
平常点				
その他	15%	発表で評価する		
自由記載	再試験は筆記試験を100%として成績判定する			
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
生活環境学テキスト 改訂第2版	細田多穂 監修	南江堂		
新版 日常生活活動（ADL）第2版	伊藤利之・江藤文夫 編	医歯薬出版		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
OT・PTのための住環境整備論 第2版	野村歡・橋本美芽	三輪書店		
作業療法学全書 改訂第3版 第10巻 福祉用具の使い方・住環境整備	木之瀬隆 編	協同医書		
自由記載				
備考				
演習を行うので、動きやすい服装で参加すること。また、グループワーク、発表には積極的に参加するように。教科書を読む等の予習をしっかりと行うこと。				